

第43回策定委員会開催概要及び議事録概要

件名	第43回 奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会	
日時	平成23年11月17日（木） 18：00～20：16	
場所	人権啓発センター 3階大会議室	
出席者	委員	片山信行、木内喜久子、日下穰、國領弘治、阪本昌彦、佐藤真理、高杉美根子、田中幹夫、古海忍、田中啓義、三浦教次、元島満義、森住明弘、安田美紗子、山口裕司、吉岡正志、渡邊信久 (今井範子、坊忠一、山口清和、吉田隆一委員は欠席)
	事務局	息田部長、阪本次長、吉住参事、村田課長、美馬主幹、甕亭補佐 平木主任、田中主務
	コンサル	堀 善雄
開催形態	公開	
記録作成者	奈良市施設課	
配布資料	資料89 第42回策定委員会開催概要及び議事録概要版（案） （参考資料） ・般若寺交差点の現状分析 ・環境アセスメント ー奈良県環境影響評価条例の概要ー	
会 議 内 容		
<p>開 会</p> <p>部長挨拶</p> <p>1. 議 事</p> <p>(1) 第42回策定委員会議事録概要版の確認</p> <p>(2) 施設整備のあり方について</p> <p>(3) その他</p> <p>閉 会</p>		

議 事 要 約 内 容	
事務局（美馬）	● 今回は奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会の43回目の会合です。 よろしくをお願いします。
息田部長	「部長挨拶」
事務局（美馬）	● 本日の出席状況です。委員総数21名の内、現在14名の方にご出席頂いております。従いまして本日の委員会は成立しております。
渡邊委員長	1. 議 事 ● 只今から、第43回目の奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会を開会致しますが、資料確認をお願い致します。
事務局（美馬）	「資料確認」
渡邊委員長	(1)第42回策定委員会議事録概要版の確認 ● 資料お揃いでしょうか。議事録概要版について、事務局に何か修正等の連絡は入っていますか？
事務局（美馬）	● 議事録についてですが、訂正が1か所ございます。10頁、吉岡委員の発言の中の3行目、アセスやパース分という記載になってると思いますが、この分につきましては、アセスやパース図という形で訂正お願い致します。以上です。
渡邊委員長	● これ以外にも、もしも見つけることがありましたら、今日の終わりまでにご発言頂ければいいかと思えます。
渡邊委員長	(2)施設整備のあり方について ● 今日は、委員会から市民あるいは市役所向けの声明文の原案的なものを用意していますが、会議の後半で、私から、口頭で皆様に問いかけたいと思います。先に、資料に基づきまして、般若寺交差点の現状分析について、事務局から説明を頂きたいと思えます。
事務局（村田）	「交通量調査報告」
渡邊委員長	● 今の説明に対して、ご質問等頂けたら。
田中副委員長	● 私、毎日車で、あの道南行きに通っています。今回の結果は、まさに私の実感と合致するんです。毎年毎年、渋滞が少なくなって、最近、渋滞ないなあというイメージを持ってきています。人口が減って、交通量が減ったのかなと思ってたんですが、信号サイクルいじっただけで変わったということで、そんなに変わるもんだなとびっくりしてるんです。
森住委員	● サイクル長ですね、長く使うことですが、どっかにシワ寄せが行くんじゃないですか？そこのところ、ご説明をお願いしたいんです。
事務局（村田）	● どこかにシワ寄せが行くということですが、今のところ、それ程大きな渋滞

森住委員	<p>が生じている訳でもございませんし、観光バスの予約制度が大きいことあるろうかとは思いますが、現実には走行時間が短くなっており、周りに対してシワ寄せはいつてないと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 信号長を長くして横断するときに、歩行者が困るだけで、車は困らないと考えていいですか。
事務局（吉住）	<ul style="list-style-type: none"> ● サイクル長を長くすると、本線の車の時間帯をできるだけ長くする。併せて切り替えの時間が、回数が少なくなるので、できるだけ本線を長く誘導することによって、歩行者の横断は、サイクル長が長くなりますが本線の道路の交通量が非常に多いので、これを最優先に流すため、サイクル長を長くすると、黄色の信号の切り替えの回数も減りますので、結果的に、本線の緑の総時間が長くなって、渋滞が少なくなったのではないかなと考えます。
森住委員 事務局（村田）	<ul style="list-style-type: none"> ● 直角で交差している道のほうから入り難くなってるわけですね。 ● 本線だけを伸ばした訳ではなく、全体に伸ばしているの、実際には青の時間はそんなに変わってないですが、ワンサイクルが長くなったことによって、いっぺんにたくさんの車が流れるようになったのが原因かと思います。
森住委員 元島委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 横の面から入るところも一緒ですね。横断者が困るだけの話ですね。 ● 当該場所の皆さんの、交通量が多くなるという指摘を、どう受けてもっていくのか。それからパッカー車が増えたとき、それ程影響ないという結論の出し方、質問ではなく、どういう論法かの確認です。これだけの調査だけで、確信的な話が進められるのかどうか。これが一番大事になると思います。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 調査、ずっと見ている訳ではないし、皆さんが納得されればいいですが。般若寺交差点の、南北の道の渋滞を話されていましたが、それは拡幅ではなく、信号で改善したというお話でしたが、般若寺交差点よりも東側の道で大型車が明らかに数字的に増えています。そういう事態を改善する方向に進むべきじゃないでしょうか。信号のサイクルなどの改善は、一定の成果を上げているということで、いかがでしょうか。今渋滞しているかどうかを査定するために、ここに来ている訳ではないので、ある程度の状況は把握しておく必要はあるから、しっかり調べてもらっている訳ですが、道路の話をしているのは、現在提案している2つの地域に、このごみの処理場を移転する話をするために、地元東部地域の方と話し合いできるテーブルに乗らないといけないということから、こういうことしてる訳ですので、ここから、我々として、どういったことを提示するのが、認めてもらえそうだろうかという話をする訳ですね。信号サイクル変えたから、うまくいけるんです、といっても、多分相手にしてもらえないですよ。そうじゃないと思います。
A委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 11か所ある信号をどう運用しているのかももう一回研究してほしい。3か年の調査を比較する場合に、その間で、運用が変わっていないかどうかが大重要だと思います。 <p>それから、元島委員がおっしゃいました今後の計画については、朝のごみ</p>

渡邊委員長	<p>を収集するための車の実態をよく調査した上で、決めないといけないと思う。それと、日常500台の、持ち込みごみ、事業系のごみをどうするかという問題もあります。これを頭において結論を出さないと、単純に理解されると問題だと思えます。</p> <p>● A委員からご指摘頂いたのは、非常に大事なことでして、森住委員もご指摘頂いた、歩行者が横断するところに対して配慮が足りないのではないかとという指摘をお二方から頂いてます。道路の計画をすることは、我々の目的ではないので、ここではっきりしたことは、般若寺交差点よりも東側の部分について、改善すべき点はあるという事務局からの見解と私は感じました。皆さん、同意されますでしょうか？ 南北については、広げるということは難しいでしょうね。</p>
吉岡委員	<p>● 信号の南北のサイクルタイムの変更は、青の時間が長くなったのですか？ 脇道から入りにくくならないのかという気がします。シワ寄せいてないのが、分かりません。私が説明するときに困るので、教えて欲しいです。それと、所要時間の調査表ありますね。復路とは、県庁東交差点から般若寺交差点に向けての所要時間ですか？</p>
事務局（村田）	<p>● そうです。</p>
吉岡委員	<p>● では、般若寺交差点、出発予定時刻と書いていますが、違いますね。県庁東交差点出発予定時刻じゃないですか？</p>
事務局（村田）	<p>● これは、般若寺交差点から県庁東まで走りましたが、帰りの時間については、行った車が戻ってくる時間です。般若寺交差点を7時に出た車が、県庁東を右折し、県庁東交差点に戻ってきます。そこから、般若寺交差点に着くまでの時間を計った訳で、出発時刻が決められなかったもので、こういう表現になっています。</p>
吉岡委員	<p>● そうすると、10月3日の月曜日の般若寺交差点出発予定時刻、7時20分のところが3分50秒となっていますね、これはどう読んだら良いのですか？</p>
事務局（村田）	<p>● 7時20分に出た車が、7分23秒かかって、県庁東を右折したのが7時27分23秒になります。そこから県庁の中に入り、Uターンしまして、県庁東の交差点まで来て、県庁東を左折した時間が、何分か分からないんですが、そこから3分50秒後に般若寺交差点を通過したということです。</p> <p>結果的に7時20分に般若寺交差点を出た車が、戻ってきた時間です。</p>
阪本委員	<p>● 合計したら往復の時間になるんですね。</p>
事務局（村田）	<p>● Uターンする時間を除いた往復する時間です。</p>
日下委員	<p>● 7時に出たのはないですか？</p>
吉岡委員	<p>● 7時に出た車は、7時4分25秒に県庁東交差点に右折したんですね。復路はどうなるんですか？</p>
事務局（村田）	<p>● 1番最初は、計ってなかったそうです。</p>
吉岡委員	<p>● 7時20分の般若寺交差点出発予定時刻の、7時20分の車が、7分23秒後に</p>

<p>事務局（村田） 吉岡委員</p>	<p>県庁東交差点を右折したんですね。その車が3分50秒かかって、県庁前から般若寺交差点まで戻ってきて、折り返しの時間を除けば、両方足した時間で往復したということですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ● そうです。 ● 信号のサイクルタイム教えてください。全部伸ばしたとしたら、脇道から入る時間も伸びてますね。それでうまくいってるんですか。
<p>事務局（村田）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 官制センターで確認しています。大体基本的に150秒くらいのサイクルタイムで回しているとのことで、コンピュータで最適化していますので、これ以上、サイクルタイムをいじるのは難しいという答えでした。その中で聞いているのは、青・赤・黄の時間比率は変えてませんから、全ての時間がわずかずつ伸びているということになります。比例配分で伸びてるということです。
<p>吉岡委員 事務局（村田）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 渋滞は出るが、早くはけるから、渋滞は気にならないのかな。 ● そうです。1回の信号で通過できる量が増えるということで、結果的に、スムーズに走っている。止まってからスタートすると時間がかかりますが、流れ続けていると、たくさんの車が、信号を1回で通過することが可能となりますから。通過交通量が増えるということです。
<p>森住委員 田中副委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 車にとっては、変わらない。 ● 信号の周期を長くして、渋滞解消すると、イメージ的に非常に分かります。そうすると逆に歩行者が、長時間待つという分があるかと思うんです。ただ、渋滞云々言われているこの道、私、前後1時間くらいは通るんですが、子供達が横断しているのを見たことはありませんし、店も開いていませんし、バスに乗る人が横断するので、バスが渋滞するほうが困ると思いますのでね、恐らく、歩行者の方が長くなっても、不満は出てないと推察します。 <p>道路は、いくら渋滞が緩和されても、もっと広くなればいいに決まっているし、東部の方が、よりよくなることを望むことは当然だと思います。ただ、はっきりすべきなのは、行政から拡幅は金が出せない。東部の方の色んな希望については、道路の拡幅では無く、他の交通安全対策や、町の振興の方にシフトすると伝える時期に来たんじゃないかと思います。</p>
<p>渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 今のお話は、南北の部分のお話ですね。東西の東向きの道については、改修の話というのはあるんじゃないかと思います。 <p>区間距離L=1.5kmを8分も10分もかかって走るのは、渋滞っていうのか、渋滞って言わないのか、どちらでしょうか。</p>
<p>事務局（吉住）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ピーク時には、道路上のほとんど、8割近くの車があるという状況になっていますので、それが12分近く必要な時間になっているという状況です。この場所が特にということではなくて、奈良市の場合、都市計画道路や幹線道路のネットがよくありませんので、この時間帯では、国道24号線も含めて、ほとんどのところが、渋滞状況になっています。県の交通管制室は、すべて、連動の信号機で、通過時間を少なくするような対応をされているという状況

<p>渡邊委員長</p>	<p>で、現在の道路網の中では、信号の処理する中で最大限の対応をされているのではないかなと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 信号については、数理工学的な最適化手法によって、成果は出ているということですね。それは、皆様も納得されていると思います。只、安全のための改修という点については、やはり大型車が増えているということは、注目すべきことだと思います。個人の持ち込みごみの車両という問題もあると、A委員からご指摘頂きましたので、道路問題については、慎重にやっていきたいと考えております。 <p>環境アセスメントの現在の制度について、事務局に用意して頂いておりますので、ご説明頂きたいと思います。</p>
<p>事務局（吉住）</p> <p>渡邊委員長</p> <p>元島委員</p> <p>事務局（吉住）</p>	<p>「環境アセスメントの説明」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ご質問、ご意見ありましたらお願い致します。 ● 経過の中で、市議会の議決をとるというのは、どこになるんですか？ ● 予算は別として事業計画というのがあって、初めて環境アセスがスタートできますので、これまでに対応しておく必要があると思います。市として基本的な事業計画については、市議会に説明して同意が前提になるかと。
<p>元島委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 同意というか行政法でいう決議をもらわないといけないと思いますが、順番にいきますと、事業計画案が出来て、方法書の作成、公告、意見の聴取とありますが、この議会の議決がどのあたりにあるんでしょうか？
<p>事務局（吉住）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 清掃工場を建設するにあたり、国の交付金頂く対応をしたいと考えています。そこで候補地が決まりましたら、国に対して清掃工場を、リサイクルセンターも含めて、これぐらいの規模の設定をしますと、かつ事業費については、概算事業費をその時に出す必要がありますので、県を通じて、環境省と協議が必要になってきますので、議決を頂くかどうかは、ちょっと分かりませんが、少なくとも議会の方には、市の対応として、今後、こういう施設整備をしていきますという報告か同意かは、この時期は必要かなと考えています。まして、事業費が少なくとも200億から300億になりますので、市が進めていくにあたって、市議会に賛同を頂く必要があろうかと考えてます。
<p>田中副委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境アセスメントを、きっちりやって2年3年かかるということなんですが、全く白紙のところから多額の費用と時間をかけて、その結果イチかバチかで評価をしてダメならダメ、マルならマルということではないと思うんです。まず、この地域であれば環境には影響はないだろうと目星をつけた上で、この手続きに乗せていくという実務じゃないかと思うんです。8割方ここでいけるだろうと。だけど1割2割というのは住民の意見を聞いて、一定の項目を付け加えるだとか、一定の評価については少し修正しようということになっていくんだと思います。そうすると事前の何か調査すると思うんですが、いかがですか？
<p>事務局（村田）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 田中副委員長がおっしゃられたように、戦略アセスメントというものがあ

田中副委員長	<p>ります。例えばレッドデータブックに載っているような生物がいるかなどを調べる調査を事前にすることがあります。只、どの調査をするにしましても、手順を踏んで、地元の方に説明した上でやっていかなければならないということで、今すぐ入れるものではないと思っております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2つの地域を策定委員会として選んでる訳ですが、環境アセス的な専門的なことも含めて、絞り込んだらいいのではないかと思います。実際に環境アセスと言った確固とした手続きに入る前に、絞り込みをする作業と合わせて、事前的な環境アセスもしたらどうかという意味で、申し上げた次第です。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境アセスメントの制度について、短く平たく言いますと、環境アセスメント制度によって、事業が中止されることはない。変更されることも、制度上、意見を述べるものなので、変更命令を出すということが有り得ないので、これが動き出す前に、目の子をつけておくべきだという田中副委員長からのご指摘だと思います。 <p>環境アセスメントという、何々が見つかったから、やめましよう、考えたくする言葉に見えますが、この制度はそうではないです。支障があるようだったら、それに対する対応策を決め、それに意見を述べるという形です。</p>
元島委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 当該場所の住民の人と、これから折衝しようとしている最中です。市民感情を逆なでしないように、最高の配慮を是非忘れないでほしいと思います。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● アセスメントだから、調べるだけだからといって、だまし打ちのようなことは、絶対にしてはならんということがはっきりしたと思います。
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 田中副委員長は8割から9割大丈夫とおっしゃいましたが、もっと大丈夫だということが、20年の経過で分かってきたんです。住民の方が心配されてる大気汚染の問題。それを吸うことによって健康被害が起こると。これについては、机上計算だけで、現地で拡散実験をしてなかったんです。私自身は、裁判出まして、それをしないと、計算と本番が合っているかどうか分かりません。それを言うことによって、あっちこちの行政が拡散実験するようになったんです。その結果、実際に拡散して降ってくる量が、元々低いと思っておりましたが、数値的に裏付けられました。ごみ焼却施設については、大気汚染によって住民の健康被害が起こることはないことは、ほぼ認識されてる訳です。只、そのことを本当に現地で、証明するためにやるようになってる訳です。行政の方は、住民の同意を得てからでないと、できないと思っておられる訳です。ここが間違っているんです。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 合意形成ですね、完全合意という話じゃないってことです。1時間の処理能力が8トン以上の焼却施設が対象なら、7.5トンは対象にならないんですか。かといって、これは環境アセスメントの対象ではありませんと言って、全く手続きを何もしないと、格好のマスコミの餌食になりますので、それはないように。周辺の環境の調査とかは、この環境アセスメントの制度いかに関わらず、できることはやる。ただ、予算的に、あまり多額のお金をかけ

<p>事務局（吉住）</p>	<p>てやるかどうか、またこれは議論のしどころだと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 廃棄物1時間あたり8トン以上はあくまでも奈良県の環境影響条例に基づく施設にあっては、こういう手続きが必要ですよということで、仮に7トンでしたら、今度、生活環境影響調査という項目がありますから、奈良市の環境審議会へ諮問して、生活環境影響調査として、手続きを踏んでいくという対応になると思います。木津川市さんも、現在、環境影響調査していますが、あそこは京都府の条例適用規模より少なかったんですが、新たに市条例を作られて、生活環境影響調査として、現在進めておられます。併せまして、木津川市さんは、設計額が約1億2,200万で、実際に落札されたのは5,700万程度で、半値以下である業者さんが取られて、今現在、環境影響調査を実施しておられます。奈良市も、それと同等かそれ以上の調査項目が必要となりますので、1億3,000万から1億5,000万の費用が必要と考えています。
<p>渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 費用的なお話も、具体的な数字も出ましたが、効率的に予算を使っていきたいということは、皆さん、お考えの通りだと思います。 <p>アセスメント制度についてご説明頂いて、事業が決定したのちの手続きであることを、理解頂けたかと思います。道路関係のお話で、県と道路に関する協議を行って頂いており、ご説明頂きたいかと思います。</p>
<p>事務局（村田）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 11月9日に奈良県の方と会って、協議を行っています。奈良県としては、道路の整備の必要性が無いことには、整備に着手できないという、前回と同様の答えでした。その中で、市の方で、お金を出してもできないのかというお話もさせてもらっていますが、やはり県として整備する以上は、その道路を整備する必要性が無いとダメです。お金はその道路を整備する結果が出てからの話です。という回答を頂いています。 <p>それと、国道の整備については、やはり県としては、管理者である奈良県でしか整備はできないと考えていると言われました。</p>
<p>渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 制度的に国道だから県がするものであるから、市はあまり言ってこられても…という、そういった感じに受けとれるんです。役所間での協議っていうのは、似たような話が多いと思いますが、そこを、声明文のようなものを出して、全市民的な話にできないだろうかと考えているところでした。事前に、私も作ってきましたが、まず、朗読します。皆さんにご意見頂きたいと思います。 <p>「声明文委員長原案」</p> <p>文章は、まだ十分にこなれていないですが、このような意見書を出したいと思っています。今回の骨子は2か所から1か所に絞りたいということ。制度上、市が国道云々というのを言うのは難しいかもしれないが、そこを何とかがんばってという、市役所に対する要望と、全市民が応分の負担をしているんだと意識を持ってもらえるように、上乘せの税金など、特別な予算を組んで、誰もが認めるという形にしなければ、これは動かないんじゃないかと</p>

田中副委員長	<p>ということで、このように提案したいんですが、皆様からご意見頂戴したいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 骨子として賛同します。より具体化するとしたら、1番目の2か所から1か所というのは、市の所有地をまず考えようというところまで踏み込むのかです。私は市の所有地ですることのマイナスというのが浮かび挙がってこないで、市の所有地ということで提案してもいいと思います。3番目の市民の応分負担については、有料袋制、奈良でもやるべきだという意見書が審議会から出ているということなので、費用を新しい焼却場を作るための資金として、市民に理解を求めて有料袋制にするべきだと。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 有料袋制については、ごみの審議会ですでに意見として、答申か何かで出されていて、今まだそれが動いていないというものなんですか。
吉岡委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 委員長の文章、基本的にそれでいいと思うんですが、3月2日に、市長に報告を、我々2地点絞って、返しました。表面的に何もそれから動いてない。委員会も目に見えて動いてないということです。そろそろ動かないと、住民の方がどう見ているか、視線が非常に気になるんです。だから2か所渡したが、1か所に絞って返しましょうかというのが、アクションの一つです。道路問題、市のやる気、情熱は見せてもらう必要がある。もう一つは、1,350台、調査した現状にごみ収集車が乗っかる訳です。減らすために、非常に大胆な考えですが、中継基地を設けるとか、それから市民の持込は別の場所にして、大きな車に積んで運ぶとか、現地へ行く車の数を減らす。そんなことも多角的に考える必要があると思います。それと、ごみ有料化の答申をしているんですから、それと合わせ技でやらないと、使途限定の有料化で資金をまかなうと。全市民が痛みを感じてやるということが、大事だと私は思います。委員長の名前で、アピールする必要があると思います。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 道路については、市が制度の壁を乗り越え、やる気を出すべきであるという応援。自動車の台数が増えることに関して、具体的な対策として、中継基地を考えてはどうかというのと、家庭からの持ち込みを受ける地域として、別の地域で受けるのはどうかというご提案です。
A委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 私も基本的には賛成ですが、ごみ袋の有料化については、答申するための委員会作って答申書を書き、当分必要性がないということで結論が出されました。ごみの減少率は奈良の場合は、非常によくなっています。従って、今その段階でごみ有料化の袋を作っても、効果は発生しないと、私は認識しています。吉岡委員と田中副委員長の発言は、結論が出ていますので、具体的には、山口（裕）委員に聞いて頂ければ、はっきりすると思います。
田中副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 申し上げているのは、新しいクリーンセンターを造る。それについてみんな痛みを分かち合おうという形を全市に広げるという趣旨で、今までの減量化のための有料袋と違う趣旨で申し上げているんです。
A委員	<ul style="list-style-type: none"> ● いかにかコストを安くして焼却できるかということが先決だと思います。実

	<p>際に、ごみ袋について、スーパーの袋で、ほとんど済ましている訳です。24リットルの大きな袋というのは、あまり使われてないんです。</p> <p>それから、道路の負担をさせるのは、もう少し先の話だと思うんです。アセスをして、どうしても道路が混雑するというならば、先程申しましたように、ごみの持ち込みを例えば午後にする。中継地の話もあります。計画の段階で、いかに交通量を減らすか、あるいは収集のためのコストをいかに減らすかについての検討をすべきです。もう少し計画の中で検討すべきです。</p>
吉岡委員	<ul style="list-style-type: none"> ● クリーンセンターを新しく造るために、やるべきことは色々ある。その一例として申し上げてました。田中副委員長も同じ意見です。
田中副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● そういうことです。
吉岡委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 減量化しても、リバウンドする可能性はありますが、やはり市民が負担する。できるだけごみを減らして、どのぐらいの容量のクリーンセンターを造るといことも、それに結びつくんで、今からやれることは、どんどんやるべきだと、私は思っています。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在の炉の古さから考えて、悠長なこと言っていられないというのを、気をつけないといけないと思っています。具体的な話で、有料化で応分の負担をと、それについては有料化のそもそもの趣旨はごみを減らすことであつたと、A委員からご指摘頂きますが、目的が変わって、有料化のことを市民に投げかけるというぐらいのことは、あってもいいかもしれませんが、そもそもの有料化の議論はそうじゃなかったということです。道路の負担云々よりもそれと併せて、例えば収集の時間を変えるとか、中継基地で持ち込みということも合わせ技でどうかっていうのも、具体例として出てきております。例えば委員会を出ている、具体的な意見としてこんなものがありますということをお見せするのは、決して、非常識じゃないと思っております。
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> ● まとめ方ですが、各委員が出された提案は、各論としまして、かなり詳しく書くものと、それから概論的に、趣旨だけきちんと3つの論点で書く、2枚にされたらいいと思います。論点を整理することが課題ですから、概論と各論に分けるといことを、今日確認して、各論については、これだけ問題提起があつたことを、並列するとかでまとめたらいいと思います。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● A委員から、ご注意頂いた、有料化はそもそもの目的はという、それは絶対足元すくわれます。各論で意見出たんですというくらいで、まずかったら、そこは謝ってもいいと思うんです。只、大枠の話というのは引いてはならないところなので、道路の制度の壁を乗り越えてほしいということと、応分の負担と、2か所から1か所に候補地を絞ることを市に提案したい。
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 2か所から1か所に絞るときに、委員会の判断として、市有地がベストであるという論理を使わないほうがいいと思います。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 市有地、言わない方がいいですか？
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> ● ベストであるという判断を書かないほうがいいという意味です。2か所あ

	<p>り、ある観点から見たらよいが、他の観点から見たら、例えば問題があるという形で、2つについて、各々書く。どちらがよいかの最終判断は地元にしてもらいたいと、投げかけたけど向こうから返答がないと、今の状況は。だから期限を限って、関係する住民の方に意見を求めるという論理にして、期限を切る。無ければ、この委員会の判断で動きますという論理構成でした方がよいと思います。</p>
<p>田中副委員長 渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 出す時期ですが、文書は、どんなスタンスで出していくんですか？ ● 地元が出てこなければと言っても、出てこないですね。期限を切るというのもなので、2か所から1か所というのは、必ずこうしろというものではなく、今までイーブンに言っていたので。どちらも魅力ある土地であるという話で来たんですが、土地の精算が、A委員から確かお話聞いたことがありますけれども、来年度内にメドがつくのですか？
<p>A委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 政治的な判断で、これを放っておく訳にはいかないから、24年編成の時に、その問題について、再度きちっと整理したうえで、予算に使いたいと。
<p>三浦委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 今のお話、塩漬の土地の話ですね、奈良市が一般会計で処理しようと思ったら、買戻しすることになりますから、非常に大きな金額です。今回、24年度の予算の中には、多分その話は出てこなくて、本年度は取り敢えず、宅造の方ですね、会計は一般会計で処理させて頂いて、土地開発公社については、また先送りという状況だと思うんです。ごみの有料化については、私も当事者ですが、いわゆる清掃部門に不祥事が多発したという中で、市民に負担を強いるのはいかなものかということで、先送りさせて頂いたということです。従って、清掃工場移転のために、あるいは土地取得のために、負担してもらいたいという目的であれば、そろそろ有料化に踏み切ってもいいんじゃないかと、個人的な意見としては、そう思うんです。只、現実問題として、奈良市の懐を考えたときに、道路を補助金ももらわず、単独で造るという、4車線化なり、どこかいじるということは、非常に財政を逼迫させるということで、個人的には、文章は賛成ですが、いざとなったら、いかなものかなと。あと2、300億しかないんです。債務負担がこれ以上増えたら、財政再建団体になるんです。そういう中で2、300億円全部、清掃工場のための道路に、或いは、清掃工場のために使うというのは…。
<p>渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 高所大所からのご意見、感謝します。ごみ袋の有料化で、いくらになるのか、それプラス、市から出せる金額というのは、いくらか、それでできる範囲という形に、なるでしょうね。ごみ袋の有料化で一体いくらなんですかね？
<p>息田部長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 年間9,000万位です。想定ですが、あくまで、45リットル、1リットル1円として。
<p>渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 例えば、今後10年分くらいを見越して、10億円くらいの補修のお金を集めると考えても構わないんですかね？
<p>佐藤委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 色んな議論が今日出されましたけれども、途中で委員長に言われた、あま

	<p>り時間がないという発言は、重視すべきだと思うんです。委員長3つ言われましたけれども、最初の1点に絞ったらどうかと。つまり市長にあげて2か所でということで、やり易いだろうと思ってやったが、全然進まない。もう1か所こっちで決めるぞと。あと2番目の点は、東部の方々の、要するに言ってるけれども、それは嫌だから言ってるだけじゃないかなと、言う気がしてならない。道路問題については、奈良市としてももう少し県に、真剣に掛け合うと。それから、これ、全市的な課題だから、有料袋ということも含めて、検討したらどうなのかというのは、付随的に2つ付けるとして、正式な申し入れは、2か所出したけども、あまり進捗がないようなので、即1か所に絞ってくださいと。それが困難だということであれば、我々の方に返してください。我々の方で、もう決めます。という意見書出すというふうにしたらどうでしょうか。</p>
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 2番目の趣旨は、今、関係のある地域の方しか関心がない。この問題を提起するんですから、道路整備のために、額を出すだけで、具体的にこれだけ使うかどうか、別の話です。具体的に有料化の議論に入る必要ない訳です。趣旨はあくまで、当事者の問題としてみんなで考えてほしいということが渡邊委員長の問題提起だと思うんです。2番目の方は、そういう観点で書いたら良いじゃないですか。道路問題、例としまして、市が金出す以外に手法がない。そのためには、これだけのお金が計算上、かかるんだと。これを市民に換算すると、一人あたりこれくらいになると。これだけの重みのあることを、市民みんなで負担しようということ言いたい訳です。これ大事な論点だと思います。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 今の森住委員のおっしゃる通り、いくらかかるんだと、一人あたりいくらであると、これはごみ袋に換算して、いくらであるということを書いたほうが分かり易いですね。
息田部長	<ul style="list-style-type: none"> ● さっきの9,000万ではなく、経費を引かずに9億。そこから袋の印刷費等経費引くと、純粋な利益は多分、3億か4億くらいです。
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> ● そんなに袋代ってかかるんですか。
A委員	<ul style="list-style-type: none"> ● それは京都の話じゃないですか？
息田部長	<ul style="list-style-type: none"> ● 1リットルを1円に換算しての話です。まだ決定していませんが。
A委員	<ul style="list-style-type: none"> ● それは、例えば全員から取る訳にいかないから。
息田部長	<ul style="list-style-type: none"> ● 全世帯として、15万世帯としての…
A委員	<ul style="list-style-type: none"> ● それは1割位もとれないです。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 数字の感覚が十分ついていないということですね。そのへんを睨みながら、今度は今の趣旨で。佐藤委員からの1か所というのを前面に出していくのは、文章として強いんですが、それだけじゃどうしても委員会が一人で突っ走っているみたいに思われてもいけないので、それよりも、他の地域の人も、議論に入ってもらいたいという気持ちもありますので、これは並べて。総論

	<p>の文章のところについては、少し短めにさせてもらって、各論のところ、こんな意見、こういった考え方もありますというのを入れたらいいのかなど。</p>
元島委員	● 委員長、市長宛にお出しになるんですね？
渡邊委員長	● 市民宛です。
元島委員	● 市民宛に、我々の委員会から出す権限って、大丈夫なんでしょうか？
渡邊委員長	● いや、市役所だけに出しても、あまりおもしろくないので、やはり市民の目に触れるような形にというのが…。
元島委員	● それなら市長宛に出して、市民に訴えて下さいと言う形ではいかがでしょうか。手続論として、いいかどうか。
	<p>市長も、動いてもらわないといけない訳ですから、我々委員会も動いてないというヤジが飛んできてるんです。だからそれも兼ねて、答えるという意味で。もう少し修正みたいなのを、お考え頂ければ。</p>
渡邊委員長	● 市長宛ですかね。
佐藤委員	● 1か所に絞るということをメインにということを書きづらいということですので、渡邊委員長の提案について、趣旨は賛成だということ。急ぎますのでね、今日の意見踏まえて、正副委員長で協議してもらって、文章を固めて頂いて、そして後はファックスなりで、各委員にも一応回して、確定して市長宛に出す。その中に、市民全体に訴えたいという気持ちを、大いに盛り込んで頂いていいと思います。そういう形で12月上旬頃までに、市長宛に執行するというぐらいの段取でやって頂いたら、どうでしょうか？
渡邊委員長	● 今、12月上旬でというお話ありましたが、そのために道路にいくらかかるとか、欲しいんですけど、間に合いますか？
事務局（村田）	● 道路の整備費用、概算でしたら大丈夫です。
渡邊委員長	● それ、頂いてからやります。袋を有料化した場合に、1リットル1円で、色々方式があって、有料化で、シナリオ1、シナリオ2、シナリオ3ぐらいで、有料化マネーが入ってきそうかというのも少し…。
A委員	● 全国の事例からすると、実際に有料にできるのが（配付する指定袋のうち）1割に満たないくらいで。ほとんど、優遇措置をとっています。なぜ奈良だけ金をとるんだと言われたら。そのへんを賛成しないですね。有料化のことを聞いたら。
渡邊委員長	● もう、これは背に腹は変えられないという、そんな感じなんですね。
A委員	● 僕はむしろね、ごみ処理の方がね、ごみが滞積してるんです。ちょうど平成13年のダイオキシン対策工事のときの山ぐらいごみはたまってるんです、清掃工場に。どうなっているのか、工場が潰れるじゃないかと。処理できなくなるんじゃないかと。どこかに周りの市町村にごみ処理してくれというふうに、頼みまわるといことは、できないと思うんです。そうすると皆バンザイしちゃうと思うんです。奈良市のごみが、それぐらいの状況にありますので、そっちを強調して頂いて、早急に決めてほしいと。対策を打ちなさい

森住委員	<p>ということを書いてほしいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 趣旨は、道路整備費を例えば袋に換算するといくらだ、という論理構成にしたら、簡単に書けますからね。有料化の是非なんて、ここで議論させたら、それこそ、他の委員会から怒られますから。次回1月のときに成案を皆でつくるために、それまでにメール等で、事前の議論を充分詰める。それを渡邊委員長が、まとめて頂いたものを1月に出して頂いて、その場で、決めるという方針の方がいいと思います。
渡邊委員長 森住委員 息田部長	<ul style="list-style-type: none"> ● 文章は、長いと皆読まないんですよ。 ● その通りです。 ● 委員長、よろしいですか？ 今、A委員からの、ごみの堆積なんです、この原因は、7月から9月まで節電で4炉の内1炉停止しました。その堆積分とオーバーホール、それと一時的な故障。それから、大型の施設の定期的な電気点検ありまして、その1日停電等が重なったために堆積しているもので、年内には大方、片付くと予定しているんです。若干、年越えるかなというのがあります。不燃ごみを堆積しているのは事実でございます。焼却炉は今現在は4炉とも稼働してまして、冬の節電はちょっと、止めにくいというのはあるんです。ごみ量を見て、できれば止めますが、今の段階では4炉動かしたいというのが、事務局としての考え方です。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 気を付けて、無理のないようお願い致します。色々ご意見頂きまして。次回にはできる限りまとまったものを、お示したいと思います。 <p>次回の日程、決まっていますが、その次が決まってないので、それを決めて終わります。1月12日が次回で、その次ですが、2月23日の木曜日いかがでしょうか？ では2月23日、木曜日をお願いします。</p>
事務局（美馬）	<ul style="list-style-type: none"> ● 長時間に渡り、有り難うございました。次回、策定委員会は、1月12日木曜日の開催となります。会場は同じく人権啓発センター3階大会議室となっております。よろしくお願い致します。本日はこれもちまして閉会とさせていただきます。有り難うございました。